

行われた第52回国際パ

「国際パリ・エアショー」 大和合金、軸受素材など出展

銅合金の製造・鍛造品メーカーである大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)はこのほど、フランスのブルジュエ空港で



大和合金のブース

リ・エアショーに参加した。同社では航空機向けを注力分野の一つに位置付けており、海外での販売拡大に向けて出展を決めた。ランディングギアの軸受に用いる円筒形のブッシュと呼ばれる鍛造・押

出品に加え、パートナー企業と共に作成した軸受の完成品も展示した。同社は東京都産業労働局が航空機産業参入支援事業で設けたコーナーにブースを設置。東京エリアの中小企業を中心とした企業で構成されるトウキョウ・

メトロポリタン・アビエイション・ネットワークの一員として参加した。

アルミ青銅や高力黄銅のブッシュとともに出展した軸受の完成品は、めっきメーカーの吉野電化工業や非破壊検査の吉増製作所、金属加工のピーエヌ機電と共同で作成した。

大和合金の萩野社長は「海外の販社や航空機関連メーカーと充実した面談ができ、非常によい手応えを感じた」と話している。同社として国際パリ・エアショーへの参加は3回目。